

シスター・サラ

本当に一人で
大丈夫ですか

神父様！



ご心配には
及びません

二日で
戻りますので

私はサラ
この教会でシスターとして
暮らしています

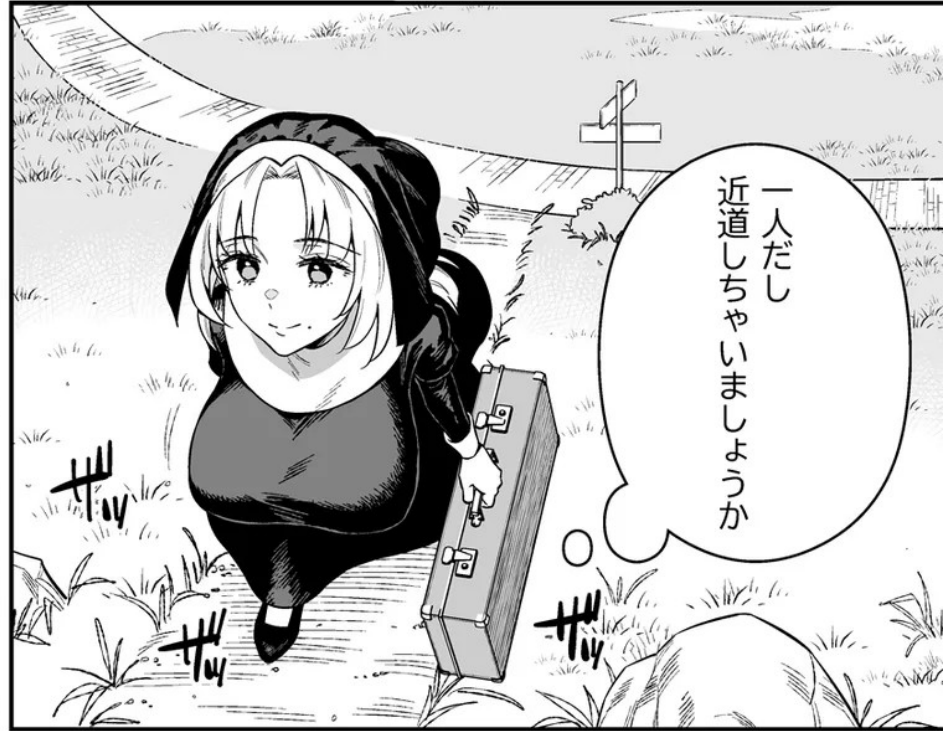
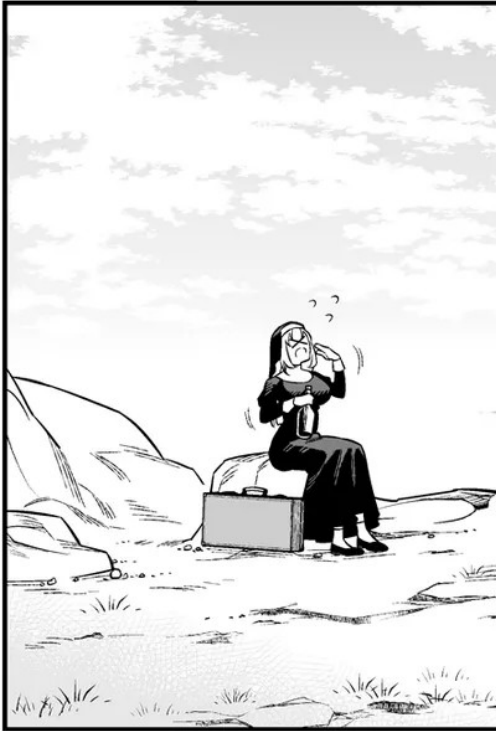
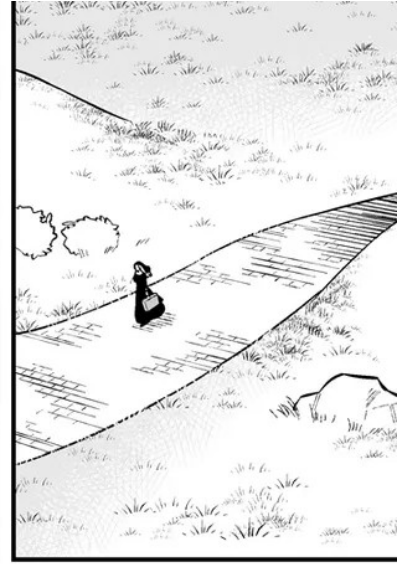
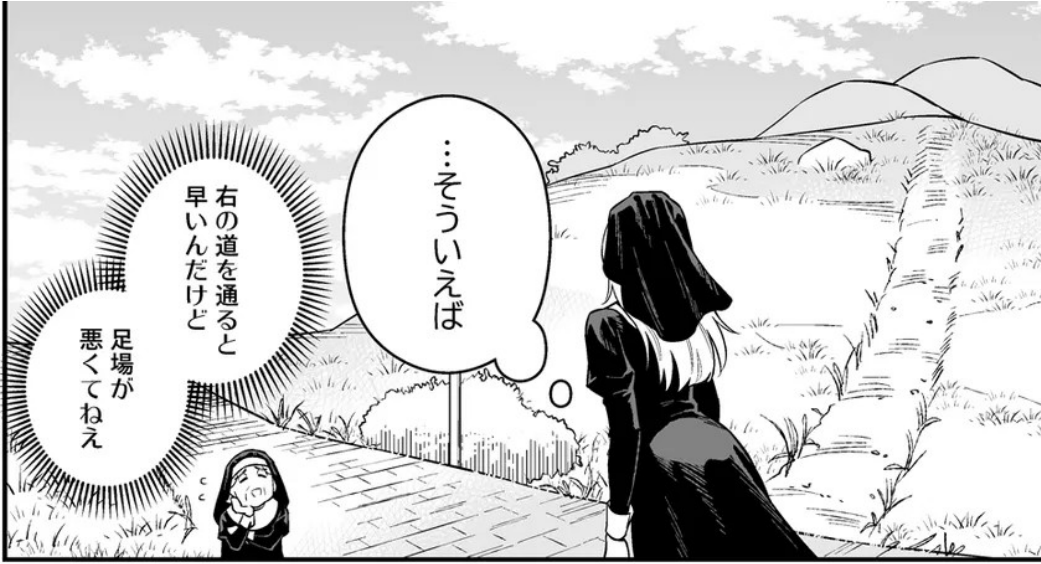
以前は他の
シスターと一緒にいたが
足を悪くされてしまい

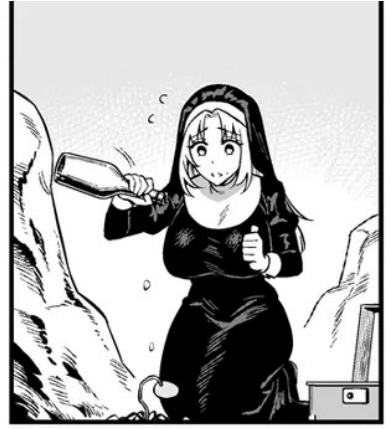
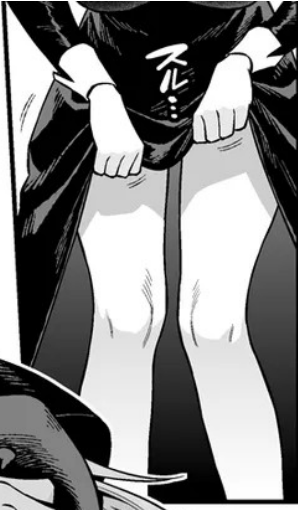
初めて一人で
伺うことになりました

今日は
隣村の子供たちに
勉強を教えに行く日です

膝がねえ
どうにもねえ





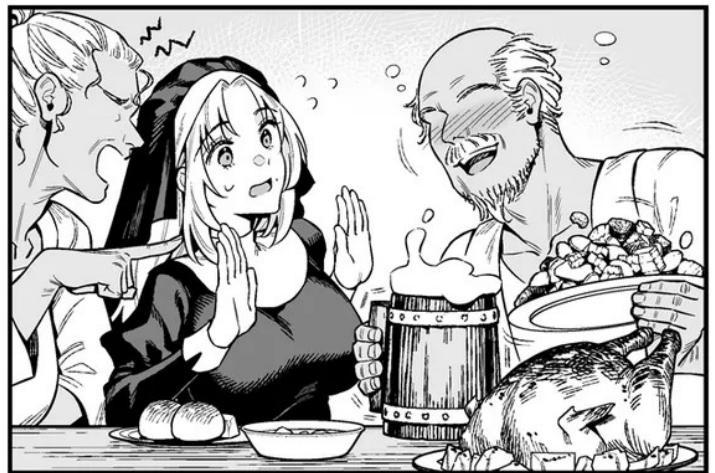
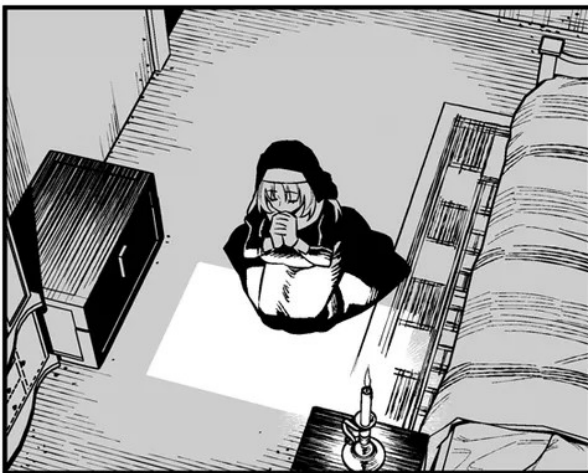


これで
どうかしら...

少しでも
元気になってくれると
いいんですけど...



ん...
ん...





まあ！

ずいぶん
大きくなって



私と
したことが

水分が必要とは言え
はしたない真似を
してしまいました…

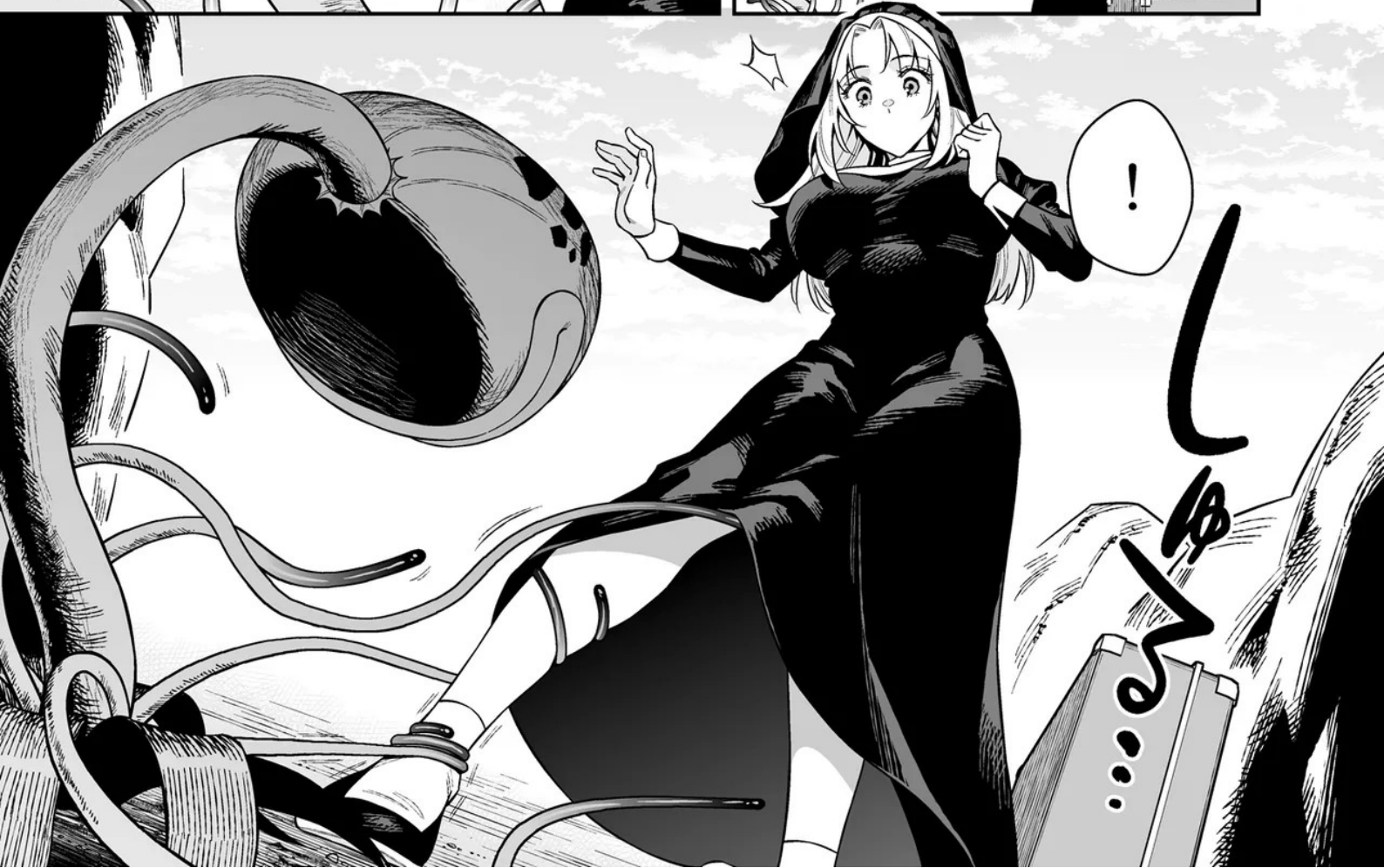


変わった
模様…

あなたのことは
“まだらちゃん”と
呼びましょう



この辺りでは
見たことのない
種類の生き物ですね



！



私
水を持って
きました

待って
ください！



み水じゃ
だめなんですか…？

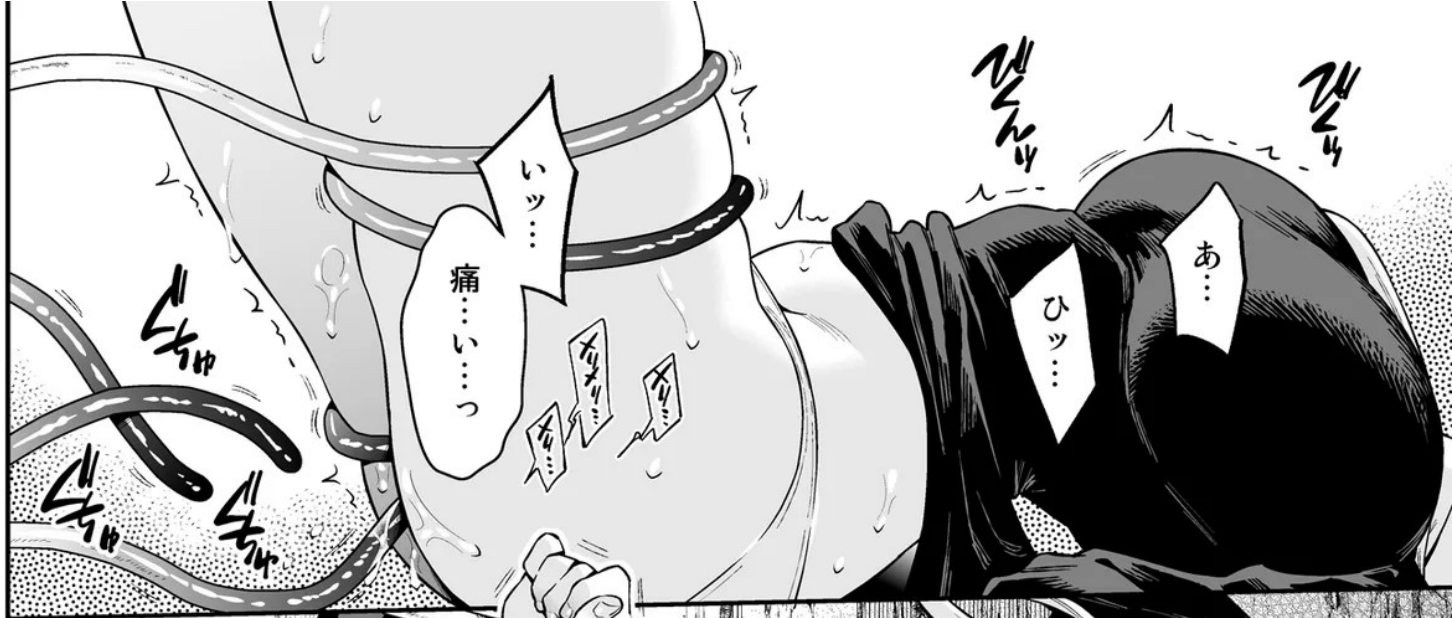
そんな…

んんんん…

んんんん…

んんんん…

んんんん…





ああ…神よ…

わたしは…

このまま
死ぬのでしょうか…



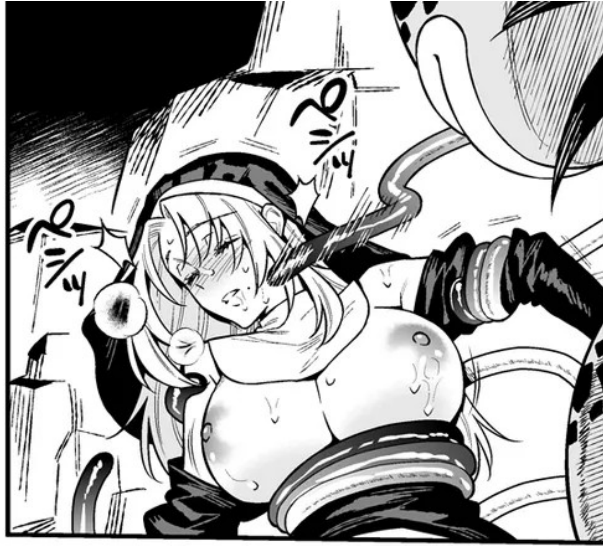
力が…

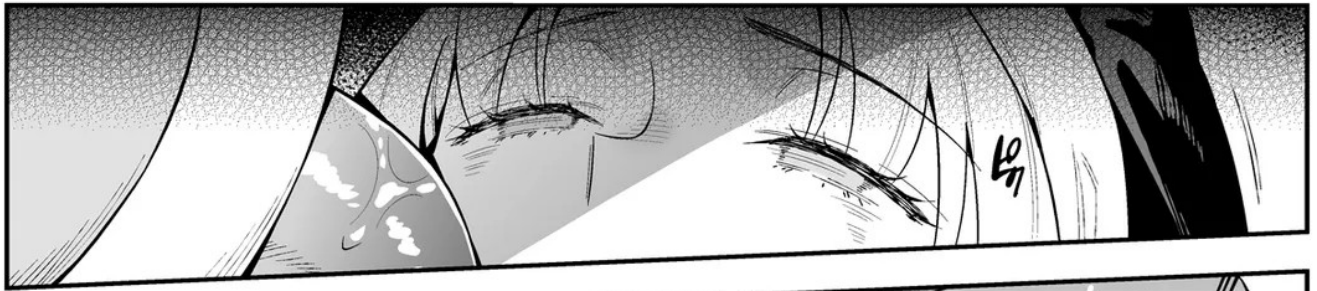
入らない…



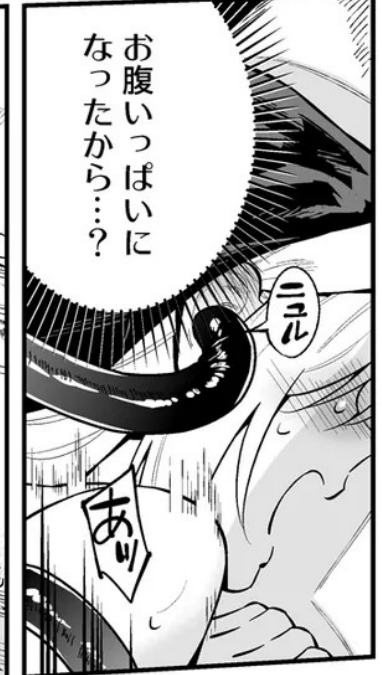
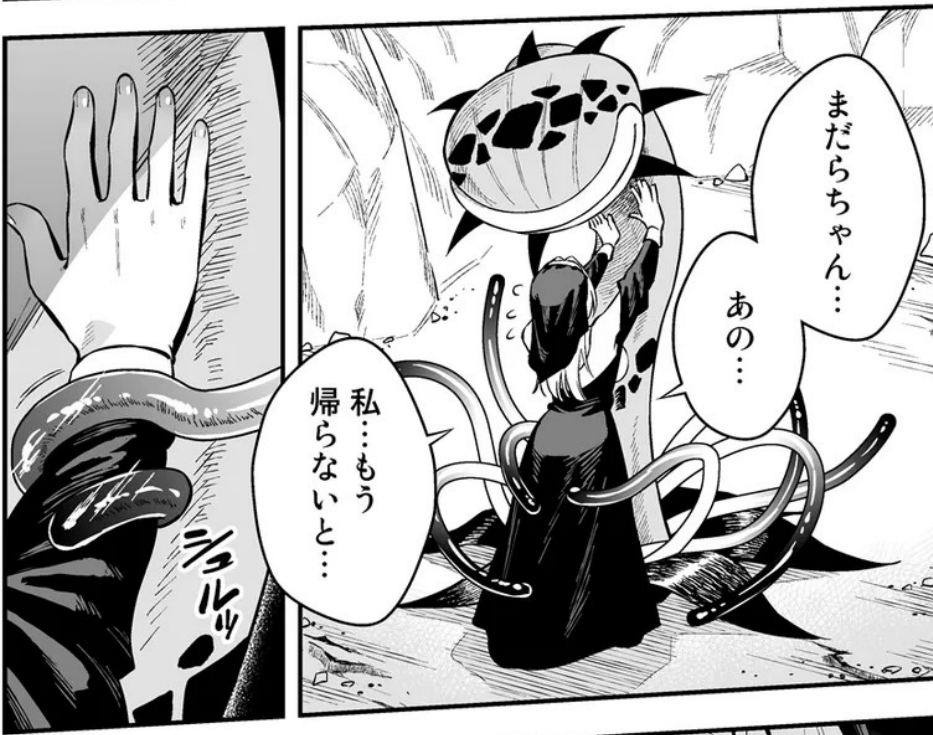
もう…

目も開けて
いられないほど…







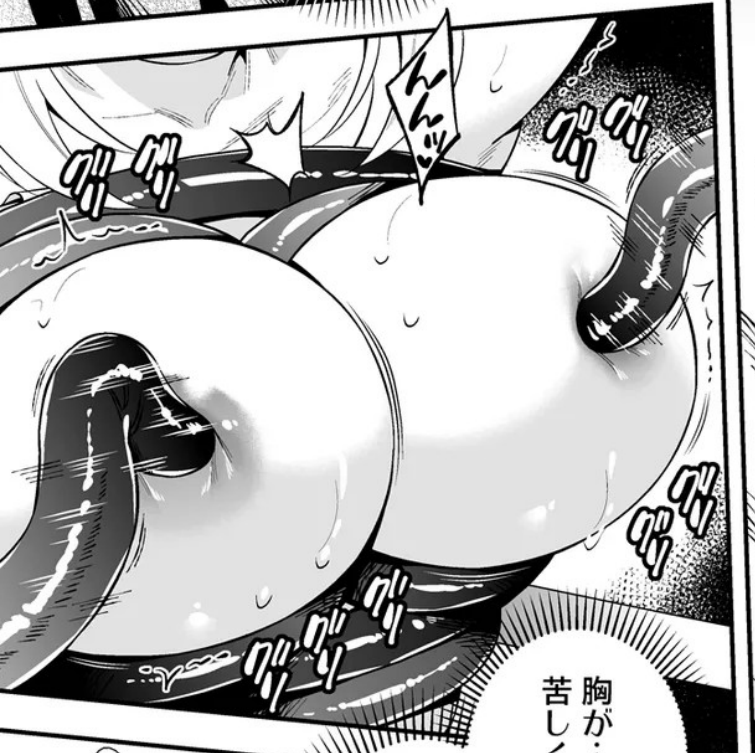






ああ…
神よ…

どうか
お許しを…



胸が…
苦しくて…

張り裂けそう…



いいえ…
もっとして
欲しい…!

わたし…
姦淫の快楽を
知ってしまいました…

もう言い訳
できません…



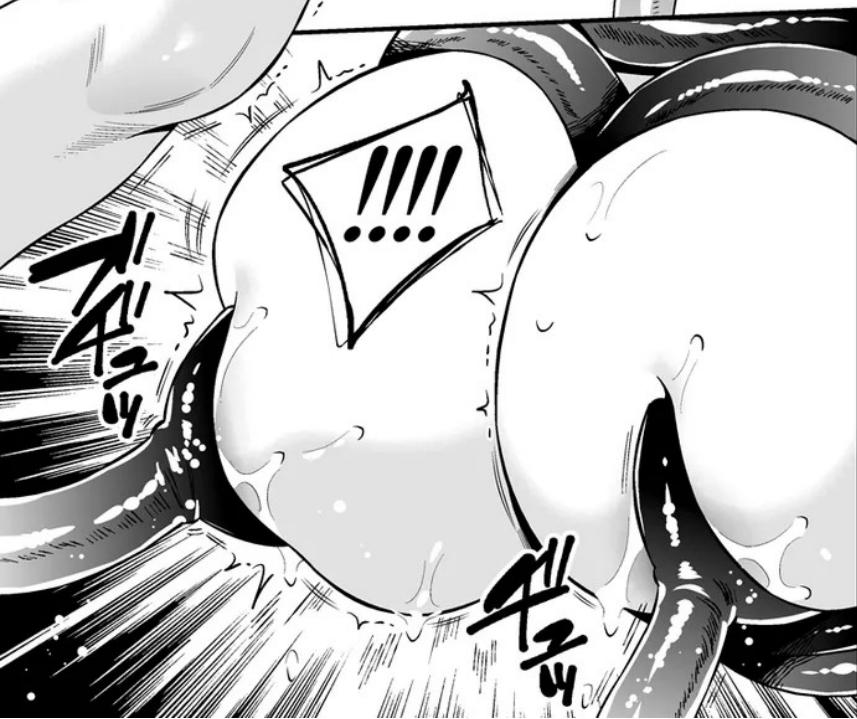
ズッ...

ズッ...

ズッ...

ズッ...

ズッ...



!!!



え...!?

なぜ...!?

私の身体
どうなって...



すっ…
吸われてる…ッ

ああッ



私のお乳が…
まだらちゃんに…ッ

ッ…なに…
この感覚…



私そのものが…
流れ出ていく
みたい…ッ

あ…ッ

グッ…



混ぜて…



ひっ…

一つに…
なる…ッ



私が
まだらちゃんの
中に入って…

溶けて…



授乳時に
分泌される
オキシトシンは

母体に
多幸感・恍惚感を
もたらす

相手への愛着を
促進する働きがある

私のお乳を飲んだ
まだらちゃんは…

私の子
なのでは…？

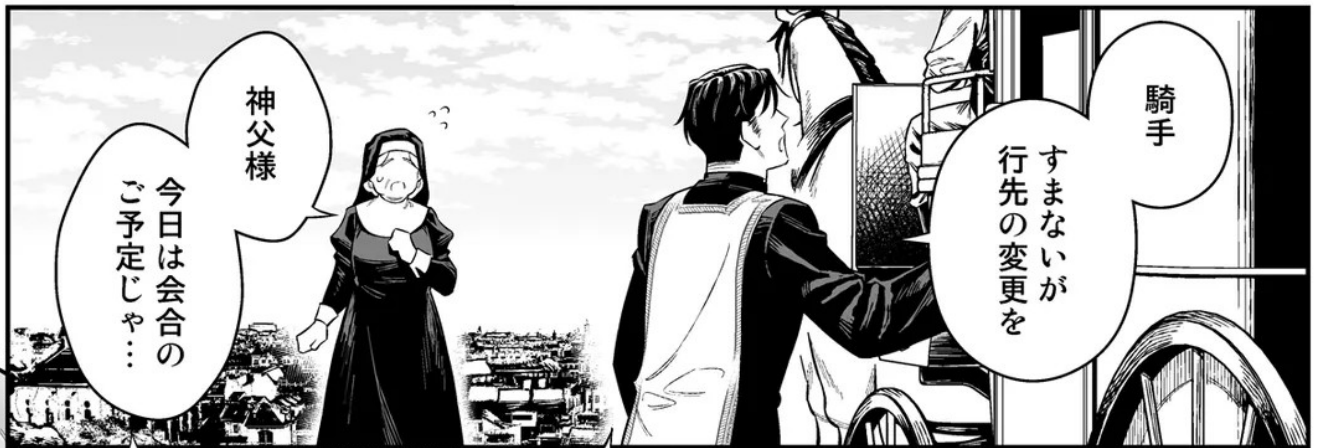
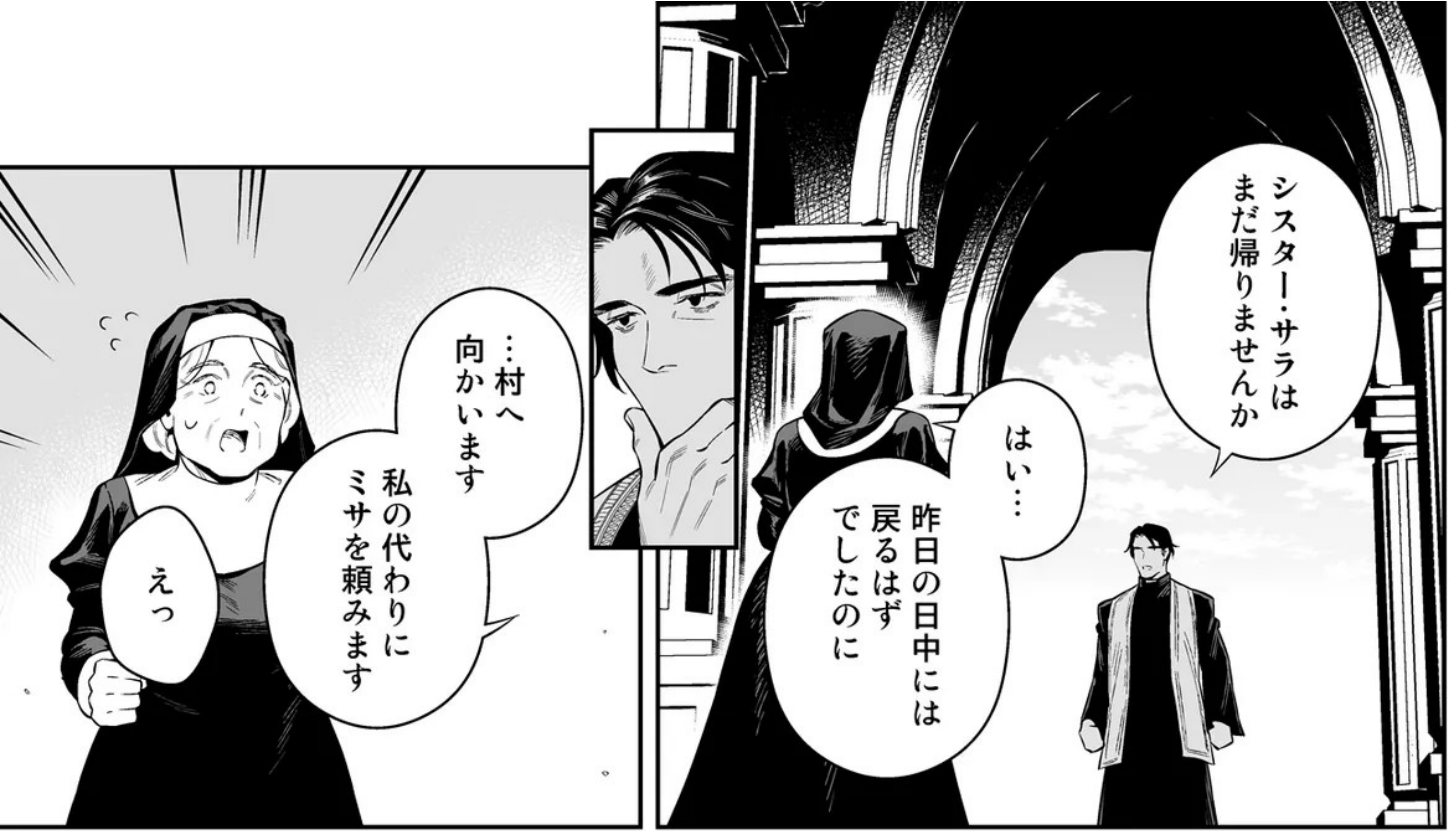
つまり…
私は…

この子の母に
なったのでは…？

これは
姦淫などではなく

尊い愛の行為なのでは







私の帰りを
待っている
人がいます

まだらちゃん
…聞いて

心配しないで…
お別れでは
ありません



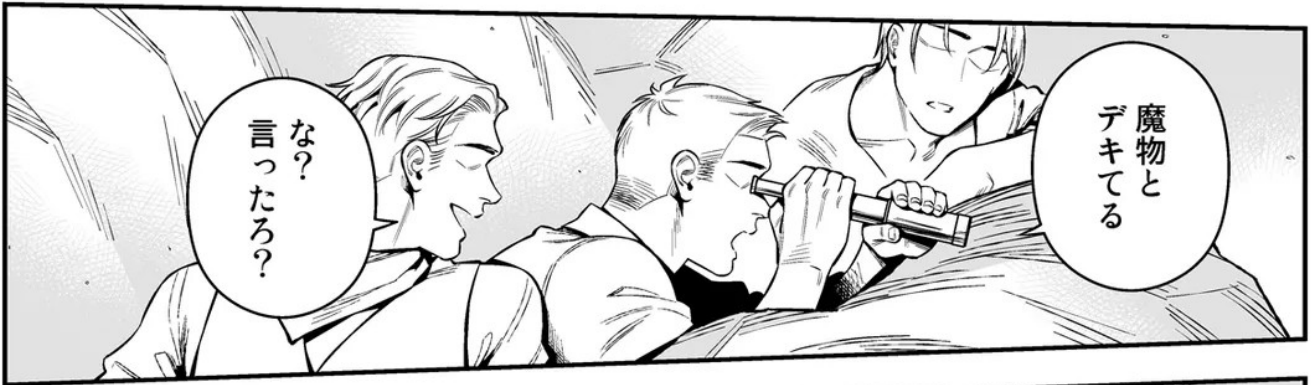
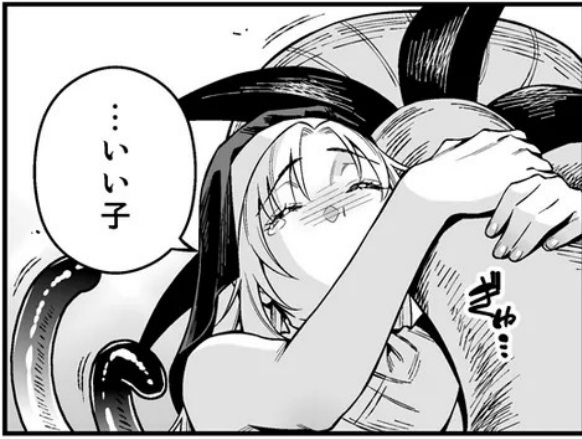
必ず
迎えに来ます

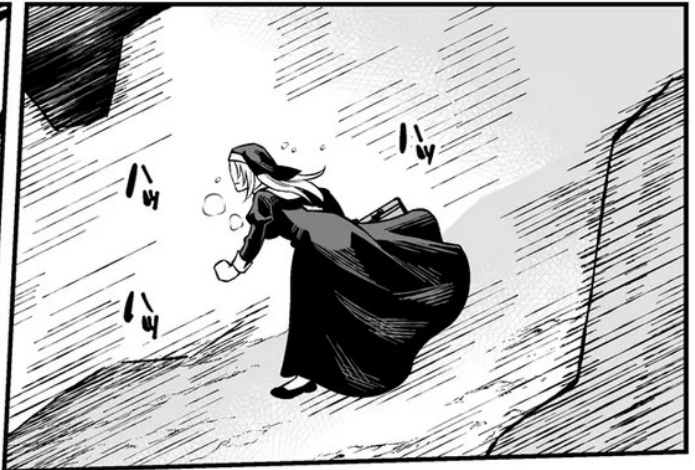
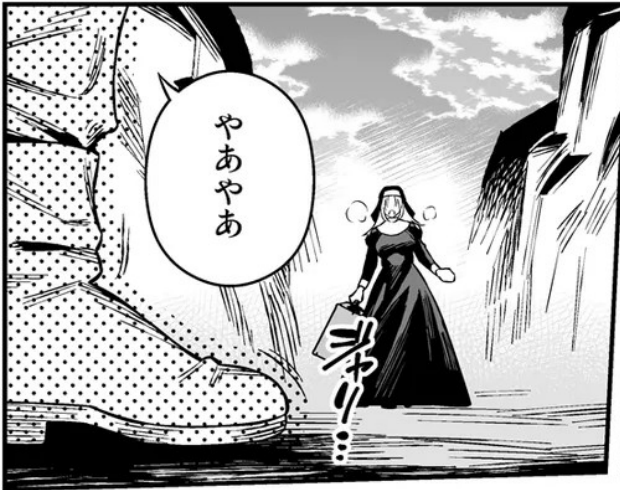
私たち
家族だもの

あなたが街で
暮らせるよう
相談してみます

私一人では
難しくても…

知恵を募れば
きっと…







そんな情報は
初耳だ

ギルドは何を
しているんです

い...
いくつかの
拠点を
転々として

足取りが
掴めないとかで...



村の皆も
用心するように！



街へ
引き返す

ギルドに
直談判
しなければ



おっ お金も
貴重品も
持ってません

どうか
離してください

へ...
分かって
ねえな

アンタ自身が
商品なんだよ



この身体なら
もっと似合いの
仕事があるぜ？

魔物なんかより
人間相手に
する方がいいだろ

!?

見られてた
なんて…っ

いッ…

いや…あ…



お!?

なんだ…？

シスターのくせに
母乳が出るのか

おいおい
禁欲を説きながら
ガキ作ってんのかよ

ちがいます…

もう…
やめて…え…



ああ...

はあ...え

ジュルッ

ジュルッ

あ...

あ...

うんま...

ん...

母乳ってこんな甘かったか？

前馬車を襲った時に赤ん坊抱いた女がいたろ

あいつの母乳はもっと薄味だった



あああ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...



はあ...

はあ...

...なんて



なんて罪深い人たち



あれか

ガキを人質にしたら大人しく股開いて最高だったな

母親ってのは子供のためならなんでもするからな



神は
あなた達の非道を
全て見ておられ：

じゃあ神サマに
助けてもらえば？
こんなに濡らして
期待しまくってる
くせによ



もう：
おやめなさい
これ以上罪を
上塗りするのは



おらおら
神サマ見てつか〜？
早くしねえと
挿入っちまうぞ〜？





ゴゴゴゴ...

なッ...!?

なんだ
今のは!?



おふッ...!!!

ズルッ...



まだら
ちゃんだ



ぐあッ...!!!

ズルッ...



ばかッ
大声を
出すな...!

いッ...

てめえが
指示してんのか!?

まさか
さっきの魔物か?



こっち来い

二人もやられて
おめおめ帰れっかよ



私を守るため…？

でも…こんな…

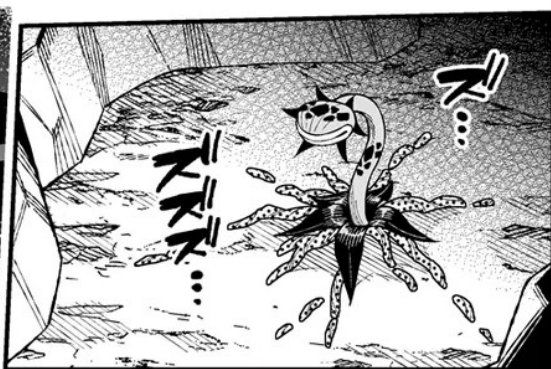
クソ…ツ
冗談じゃねえ…

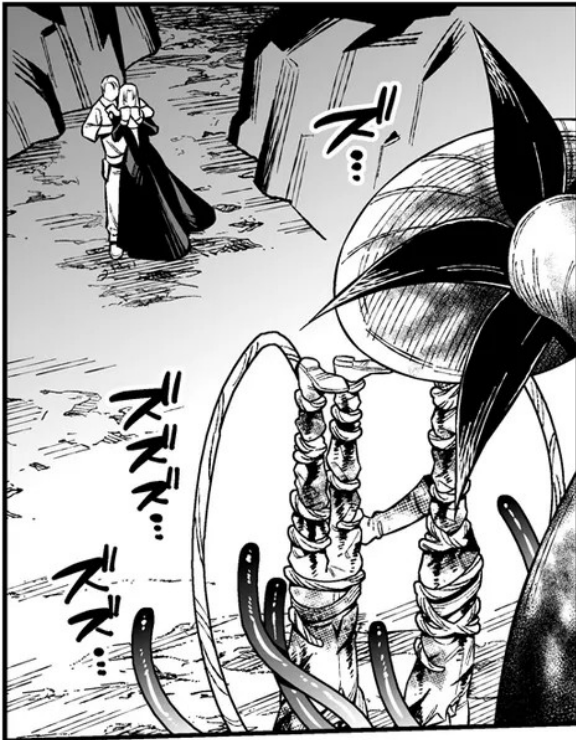


チンチン…

チンチン…

チンチン…





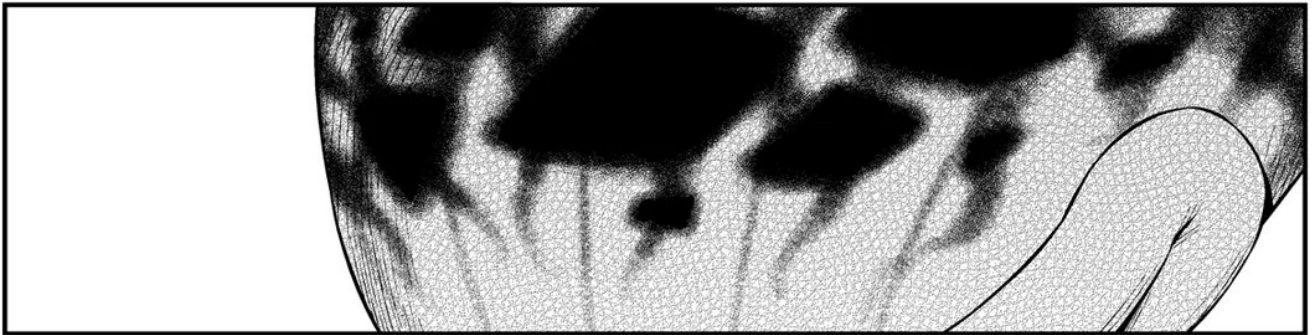
返して欲しければ
二人を放せ!!

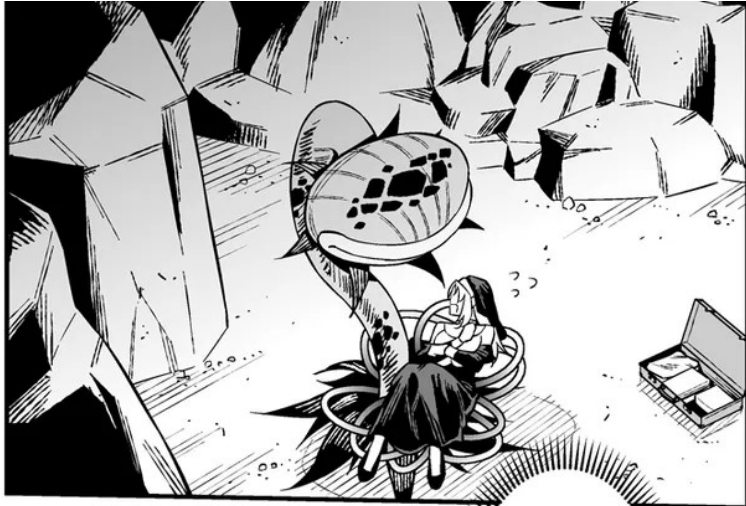




まだらちゃん……!







早く…

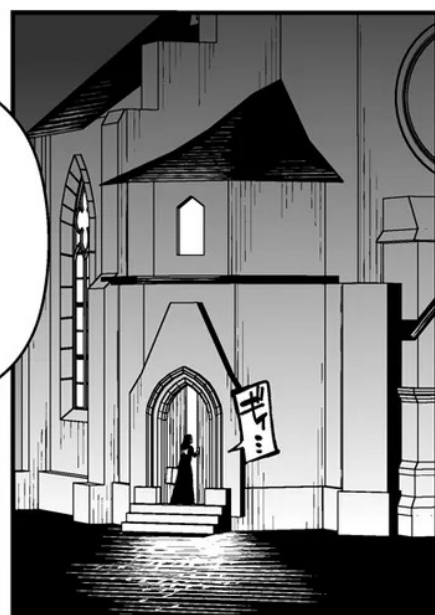
早くここから
離れなくては…!!

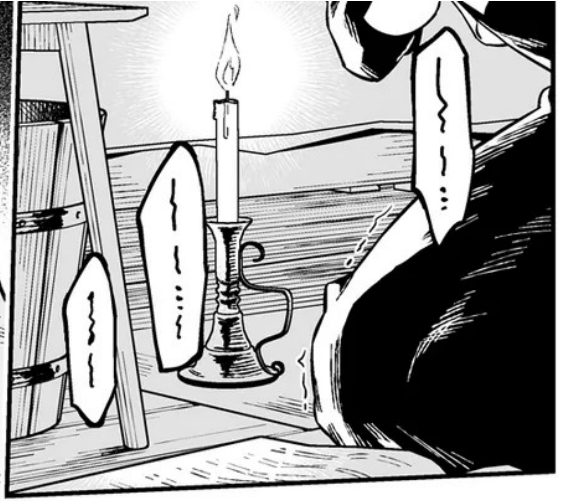


神父様…

ずいぶん
遅かったですか
ないですか

シスター・サラ…!?





忘れなきや...
いけないのに...

忘れなきや...

神父様!?

ここは
女子寮なのに

部屋の明かりが
見えました

まだ
起きていますね?
シスター・サラ

何か心に
抱えているものが
あるようですが...

よければ告解室で
私にすべて
話してみませんか

もちろん
秘密は守ります

告解室...



なかなか寝付けないだけで…



…体が…その…
火照ってしまった

急いで帰ってきたから…



いえ…
そんな
神父様にお話しするほどのことではありません



…そうですか



いい夢を
シスター・サラ



落ちて着けるよう
温かい飲み物を
用意しました
これだけでも
受け取ってください



ここに居るのを
誰かに見られたら

神父様でも
咎められて
しまうのに…



ギィ…

もういない…



…今日の

まだらちゃんとの
“あれ”は



よほど心配させて
しまったんですね…

…おいしい

甘くて
とてもいい香り



姦淫

…そういうものでしょう…

神の教えにおいて
姦淫は大罪です…

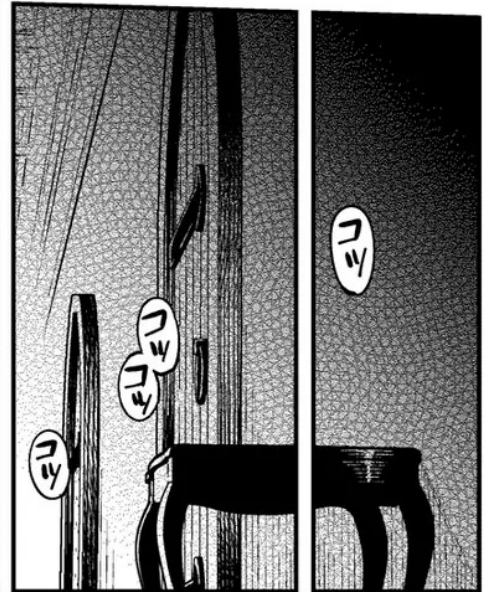
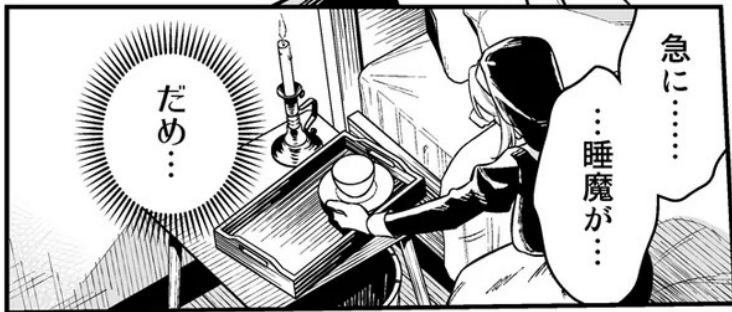
まだらちゃんが
食事のつもり
だったとしても…

私にとっては……

ワグン

ワグン

ワグン



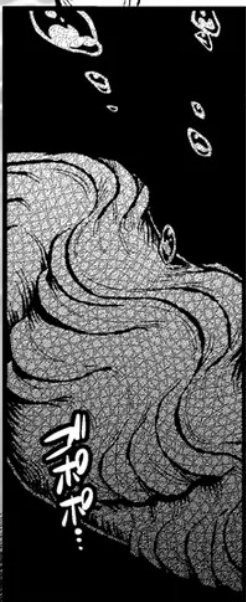


あなたの意識は
だんだんと
落ちていき...

灰暗い水底の
貝の中に
囚われました

これから
あなたの肉体に
何が起きても

意識まで
届くことは
ありません





しかし
神父として…
また養父として

あなたの全てを
把握しておきたい

ギョッ

ギョッ



…初めて私に
嘘をつきましたね

サラ

あなたも
大人になったという
ことでしょうか…



隅々まで
検^{もた}めていきますよ



これは…

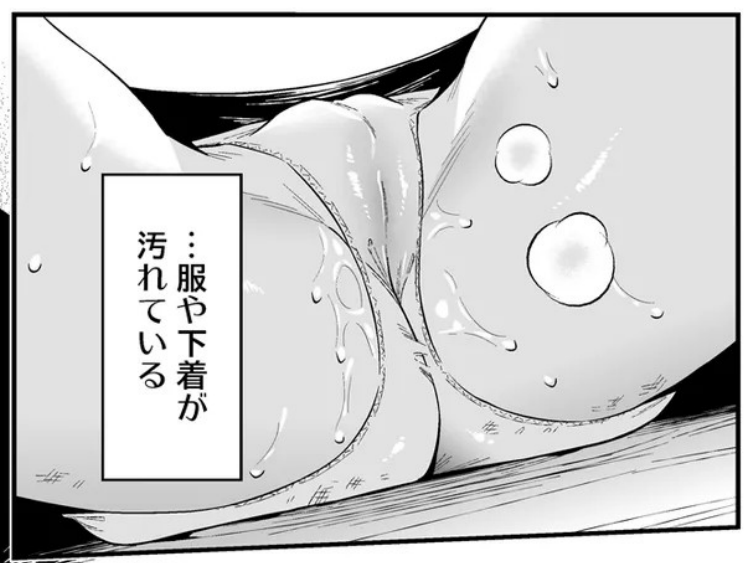
…!



暴漢に
襲われたか…?

包み隠さず
話してくれたら
よかったのに…

やはり一人で
行かせるべきでは
なかった



…服や下着が
汚れている



体には
擦り傷もある…







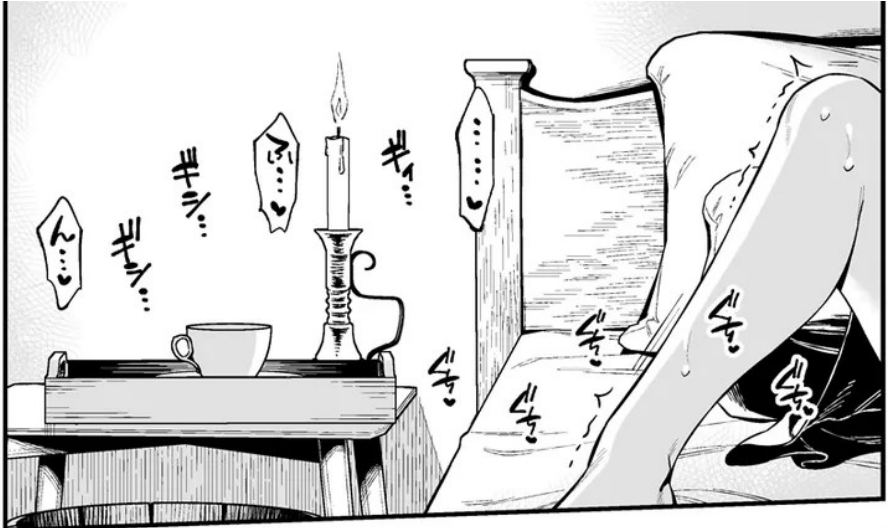


はっ
はっ

私の知っているサラは
どこにもいない……

……もう





どうしようもなく
どす黒い感情に
塗り潰されそうになる





はーはーはー
だめだ…
それだけは…

はーはーはー
私まで外道に
身を落としてしまう…

…いや……
薬を盛ってまで
姦淫してる私も

同じ穴の貉だ

